（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	キッズとこらく

公表日　　2025　年　3　月　27　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		適切なスペースを確保しています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			指定基準は満たしていますが、継続して求人を行っていく必要があると考えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		時間と空間をそれぞれの特性に応じた配慮を行っています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	○		利用時間前後の清掃を徹底して行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		主に、小集団療育や個別療育で利用できるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々の朝礼と夕礼で情報共有を図っています。	
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングの中で話し合いながら、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月の職員会議で意見を募って業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は行っていませんが、今後は導入も検討していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待研修、ペアレント研修などを受講する機会を確保しました。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		適切に作成した上で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		丁寧に聴き取り、お子さんと保護者さまに寄り添った計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		他の職員の意見を踏まえた児童発達支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画の内容は職員間で共有し、計画に沿った支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化したツールとインフォーマルなアセスメントを使用しながら確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な課題が適切に設定され、そのよって、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、チームで立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子ども一人ひとりに合わせたプログラムの提供を心がけています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団療育と個別療育を組み合わせた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には必ず支援内容の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後は、必ずその日の支援内容の振り返り、改善点等の洗い出しを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		PDCAを繰り返し行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に１回の児童発達支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議には毎回参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健、障害福祉、保育、教育機関等とは、必要に応じて連携を図っています。	
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育園や小学校との情報共有は必要に応じて行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校や特別支援学校とは、支援内容の情報共有と相互理解を図っています。	
		（28～30は、センターのみ回答）				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、機組的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（保立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ継続的に参加しているか。				
		（31は、事業所のみ回答）				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		児童発達支援センターとは、必要に応じて助言を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		毎月１回、市内の保育園へ訪問を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やLINEを通して情報共有を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		一昨年ペアレントトレーニングを実施しました。	今年度も希望されるかが一定数集まれば実施する予定です
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の最先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		お子さんと保護者さまのご意向は、児童発達支援計画作成時に確認しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画を提示しながら、丁寧な説明を行った上で同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時やLINEで情報共有しており、必要に応じて文書を作成し、面談の機会を設け助言を行っています。	
	39	父母会の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		イベントを通して、保護者やきょうだい同士で交流できる機会を設けたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		送迎時やLINEで情報共有しており、必要に応じて文書を作成し、面談の機会を設け助言を行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ＨＰやインスタグラム、機関誌などを通して活動内容について発信しています	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		カギ付きのロッカーに収納しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民に参加していただくような行事は行っておらず、今後の課題の一つとなっています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは作成しており、週頃訓練も実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定及び訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			該当者なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	○		安全計画の作成、研修、訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		安全計画の内容について、ご家族に説明しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの共有、再発防止に向けた対策をミーティングの中で決定しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修への参加、報告を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		身体拘束についてご説明しているが、児童発達支援計画に記載している利用ないないです。